

日本地震工学会・大会－2017（東京）

一般発表の募集案内

大会実行委員会
委員長 秋山充良

日本地震工学会では、地震工学に関連する横断的な幅広い研究課題について発表し、討論を深めるために、年次大会「日本地震工学会・大会－2017」を下記のとおり開催いたします。

本年度も、昨年度同様に専門分野や理学・工学の垣根を越えた、より積極的な横断的研究分野での情報交換やディスカッションができるよう、各専門分野の基調講演に加え、分野横断型の特別セッションを用意しています。一般発表では、日本語または英語による投稿を募集します。発表はポスターセッションを基本としますが、一部、オーラルセッションとして発表していただく場合もございます。また、例年通り、地震工学技術フェアも予定しております。

つきましては、下記の要領で一般発表論文を募集いたしますので奮ってご応募くださるようお願いいたします。

日程：2017年11月13日（月）～14日（火）

場所：東京大学 生産技術研究所 駒場Ⅱキャンパス（〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1）

<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/>

投稿料：〈会員もしくは学生会員を含む場合〉無料、〈非会員のみの場合〉5,000円

参加費：〈会員〉5,000円 〈学生会員〉2,000円 〈非会員〉10,000円 〈学生非会員〉4,000円

大会プログラムの概要：一般講演に加えて、基調講演および横断セッションを企画しております。

基調講演：

- ・ 川島一彦 先生（東京工業大学名誉教授）
「地震工学研究は橋の耐震性向上に何をもたらしたか？」
- ・ 濱田政則 先生（アジア防災センター センター長）
「臨海コンビナートの強靱化と課題」
- ・ 和田 章 先生（東京工業大学名誉教授）
「分からないことの多い地震動と構造物の鈍な耐震設計」

横断セッション：

- ・ 横断セッションA（コーディネーター：運上茂樹（東北大学））
「災害情報の提供と利活用による
地震災害に対する予防力と対応力の強化—SIPが目指す減災戦略—」
- ・ 横断セッションB（コーディネーター：高橋良和（京都大学））
「2016年熊本地震における振動制御技術の挙動と課題」
- ・ 横断セッションC（コーディネーター：山田博幸（電力中央研究所））
「原子力安全確保における地震安全原則の必要性（仮題）」
- ・ 横断セッションD（コーディネーター：堀 高峰（海洋研究開発機構））
「ハイパフォーマンス・コンピューティングによる
地震・津波災害の統合的予測システムの構築（仮題）」

● 一般発表の申し込み

会員情報、優秀論文賞への該当有無、代表者情報（代表者名、所属機関、肩書き・学位、連絡先（住所）、電話番号、メールアドレス）、投稿原稿情報（種別、区分、題目（和文・英文）、著者情報（※連名者を含め情報を記入））、キーワード（4つ以内）を記入の上、締切日までにお申し込みくださると同時に、発表論文をご提出ください。

なお、ご発表がポスターセッションとなるかオーラルセッションになるかは、プログラム編成で決めさせていただきます。ご了承ください。

締切日：2017年8月10日（木）

申込方法：ウェブ投稿とします（投稿サイトは7月上旬にオープンします）。

日本地震工学会のサイト <http://www.jaee.gr.jp/index.html> から [画面左の年次大会のバナー] → [投稿サイトはこちら] にアクセスし必要事項を書き込み、発表論文ファイルをアップロードしてください。書式は [執筆要領] に従ってください。

応募分野の分類：

- ・ a. 自然現象（地震動、地下構造、地盤、津波、歴史地震ほか）
a-1 震源特性、a-2 地下構造、a-3 地盤震動、a-4 地盤の液状化・斜面崩壊、
a-5 津波・歴史地震・その他
- ・ b. 構造物（地震応答、構造実験、耐震設計、免震、制振、診断補強、相互作用ほか）
b-1 地中構造物およびダム、b-2 杭および基礎構造、b-3 地盤と構造物の相互作用、
b-4 土木構造物、b-5 建築構造物、b-6 機械設備系、
b-7 免震・制振・ヘルスマニタリング、b-8 耐震補強、b-9 原子力構造物、
b-10 新しい構造・材料・その他
- ・ c. 社会問題（ライフライン、災害情報、リスクマネジメント、防災計画、復興計画他）
c-1 ライフライン、c-2 緊急速報・災害情報、
c-3 防災計画・リスクマネジメントおよび社会・経済問題、c-4 復興計画・その他
- ・ d. 被害調査など
d-1 東日本大震災調査、d-2 熊本地震調査、d-3 最近の国内外の地震被害調査、d-4 その他

● 優秀発表賞について

優れた発表をされた若手を対象に「優秀発表賞」の表彰を行いません。対象となるのは、以下の全てに該当する方です。

・ 一般発表に報告を著者として投稿し、ポスターセッションまたはオーラルセッションで発表した方

・ 開催年度末時点で満35歳以下の方（1982年4月1日以降に生まれた方）

若手研究者の積極的な投稿を期待しています。

● その他のイベント

年次大会では、以上の企画に加えて下記のような催しを企画しています。

交流会：2017年11月13日（月）

※開催時間や会費は、後日、掲示いたします。